

卒業研究		教授 樽井 勇之	
科目カテゴリー	国際ビジネス学科の必修科目	科目ナンバリング	21300401

1. テーマ

情報通信技術を用いた課題解決手法に関する研究

2. ゼミのねらい・概要

各自が選択したテーマに従って、自主的に研究を進める。コンピュータ教室の利用と併せて 2 号館 4 階の研究室も利用する。わからないところがある場合もできるだけ自分で調べて解決する。

なお、希望するゼミ学生には、国家資格である情報処理技術者試験の指導も行う。

3. ゼミ計画

ゼミ計画は、概ね以下のとおりとするが、個別の進捗状況に応じて適宜見直しを図る。

〈前期〉	〈後期〉
1. ガイダンス	1. ガイダンス
2. 論文とは	2. 研究の準備
3. テーマ説明	3. 研究の実施 1 (アプリケーション設定)
4. 情報収集	4. 研究の実施 2 (アプリケーション利用)
5. Web による論文検索	5. 研究の考察
6. 研究の進め方	6. 研究のまとめ
7. 論文の読み方	7. 論文指導 第 1 章
8. 論文の形式	8. 論文指導 第 2 章
9. 論文の概要	9. 論文指導 第 3 章
10. 論文の構成	10. 論文指導 第 4 章
11. 課題の抽出	11. 論文指導 第 5 章
12. 課題の検討	12. 論文指導 まとめ
13. 課題へのアプローチ	13. プレゼンテーション準備
14. 研究計画	14. プレゼンテーション練習
15. まとめ	15. まとめ

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

卒業研究を進めるために、類似研究論文をできるだけ収集して読み、理解すること（約 1 時間）。

アプリケーション開発を研究テーマとした場合は、毎日プログラミングをする必要がある（約 1 時間）。

データ分析などを研究テーマとした場合は、データ分析ツールの利用方法を修得する（約 1 時間）。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

研究の進捗報告の際に個別に指導する。また、卒業研究執筆時には添削しながら個別に指導する。

6. ゼミにおける学修の到達目標

情報通信技術により解決できる問題を探し、独創的な解決手段を提案・実施した結果について論文をまとめられる。

7. 成績評価の方法・基準

卒業論文の内容（70%）およびゼミに対する取り組み姿勢（30%）。

8. テキスト・参考文献

各自の研究テーマに応じて個別に指示する。

9. 受講上の留意事項

卒業論文を執筆することを前提に，収集した資料論文や参考文献，開発したプログラムや関連文書等をきちんとまとめておくこと。